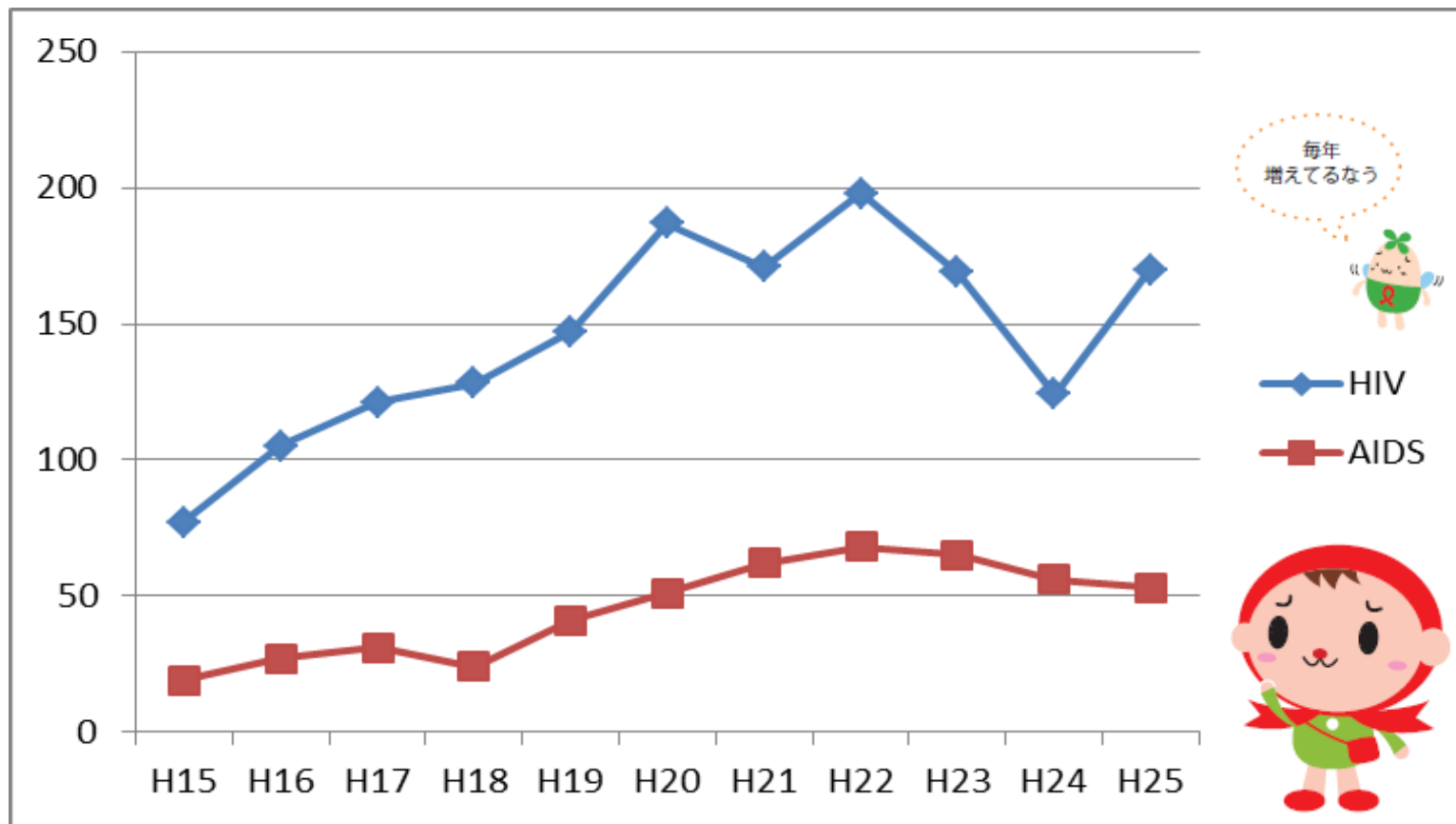


大阪府におけるHIV検査 受検促進のための取組



大阪府健康医療部保健医療室
地域保健感染症課 感染症グループ
尾崎 拓治

大阪府の新規報告数の推移(1)

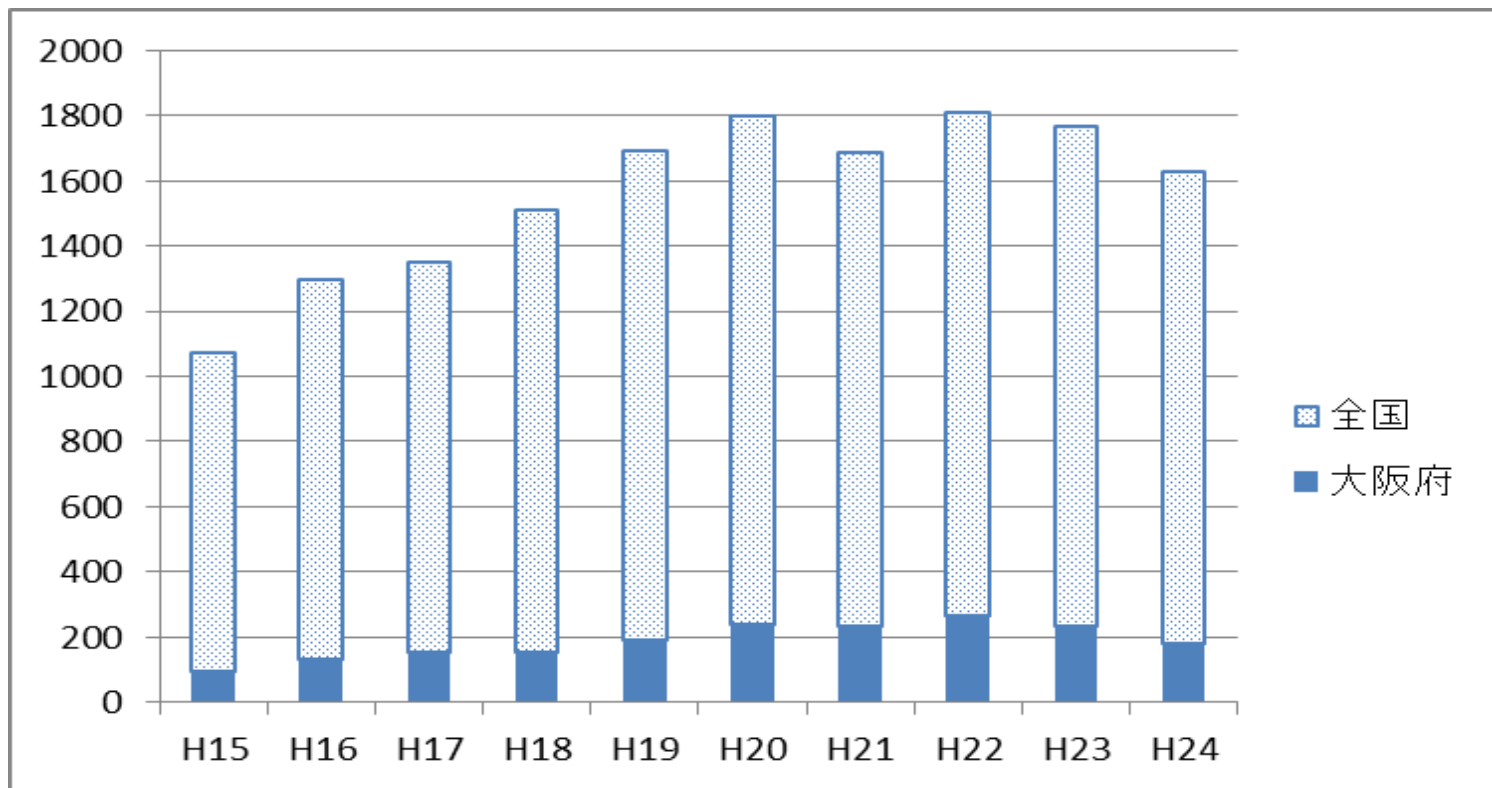


	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
HIV感染者	77	105	121	128	147	187	171	198	169	124	170
エイズ患者	19	27	31	24	41	51	62	68	65	56	53
計	96	132	152	152	188	238	233	266	234	180	223

※H25は平成26年1月27日速報値

大阪府の新規報告数の推移(2)

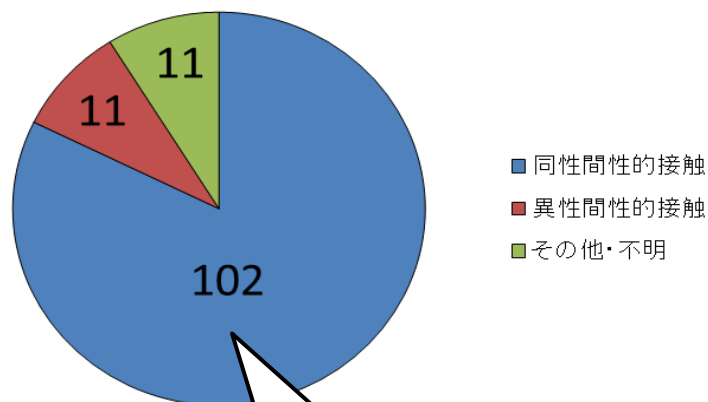
新規HIV感染者・エイズ患者報告数計



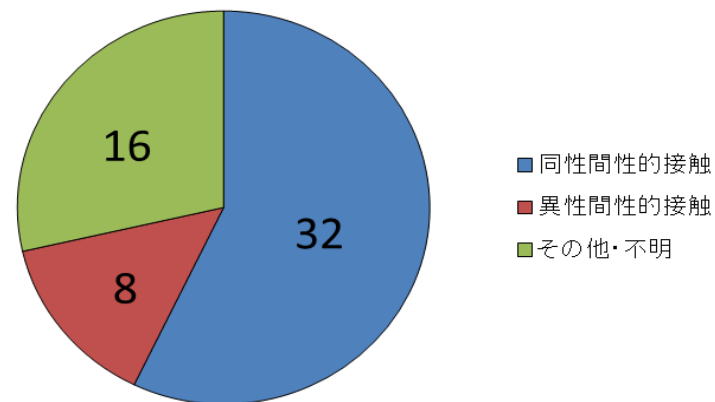
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24
大阪府	96	132	152	152	188	238	233	266	234	180
全国	976	1165	1199	1358	1500	1557	1452	1544	1529	1449
府割合	9.8%	11.3%	12.7%	11.2%	12.5%	15.3%	16.0%	17.2%	15.3%	12.4%

大阪の推定感染経路別報告数 (H24年)

【新規HIV感染者報告数】

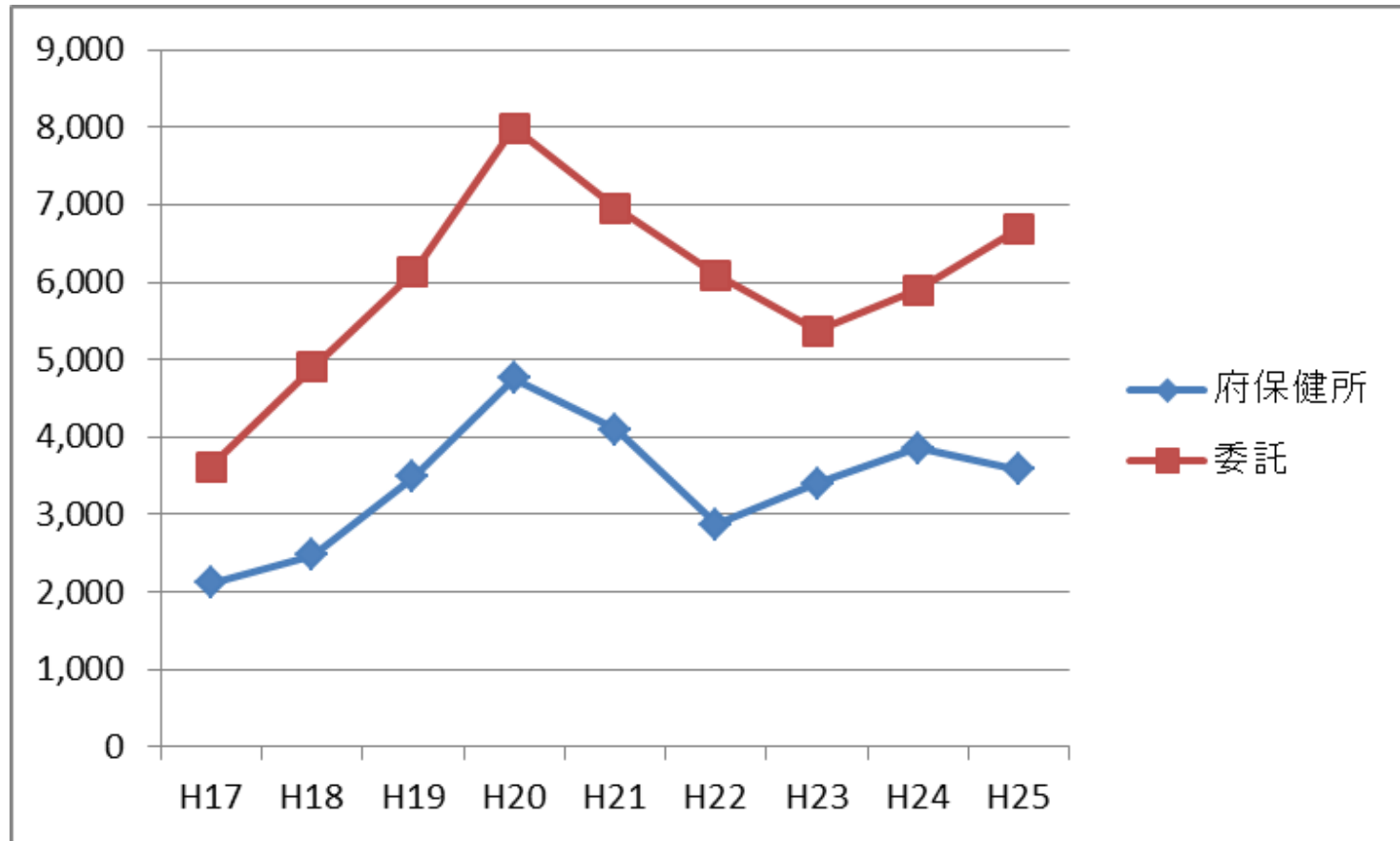


【新規エイズ患者報告数】



同性間性的接触が約8割

大阪府のHIV検査件数の推移



	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
府保健所	2,111	2,472	3,484	4,753	4,096	2,869	3,406	3,851	3,582
委託	3,614	4,903	6,132	7,988	6,954	6,095	5,365	5,903	6,687
合計	5,725	7,375	9,616	12,741	11,050	8,964	8,771	9,754	10,269

大阪府のHIV検査

■保健所HIV検査 昭和62年～

- ・13保健所で検査実施。うち、4保健所で即日検査を実施

■chotCASTなんば 平成20年～

- ・土日即日検査、平日夜間通常検査を実施
- ・大阪市との共同事業



■クリニック検査キャンペーン 平成24年～

（男性同性愛者限定、複数の性感染症検査とセットで実施）

「chotCASTなんば」の概要

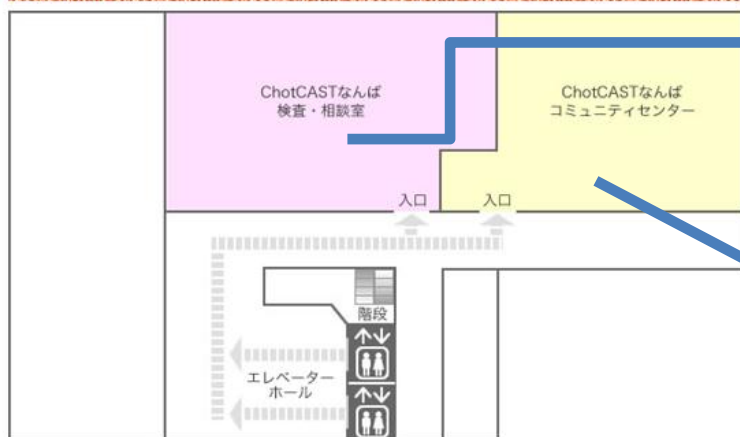


場所: イチエイ総合ビル3F(浪速区)
地下鉄御堂筋線・千日前線
「なんば駅」6号出口からスグ

「chotCASTなんば」は、HIV感染の早期発見のための「検査・相談」と、これらの相談・啓発・支援などを行う「コミュニティセンター」から成り立っている。

検査場とコミュニティセンターが隣接していることから、啓発効果が非常に高く、大阪のHIV対策の中核となっている。

平面図



■ 検査・相談

運営: 大阪府および大阪市

受託: 特定非営利活動法人スマートらいふネット

■ コミュニティセンター

運営: 厚生労働省

受託: 特定非営利活動法人HIVと人権・情報センター

「chotCASTなんば」の検査情報

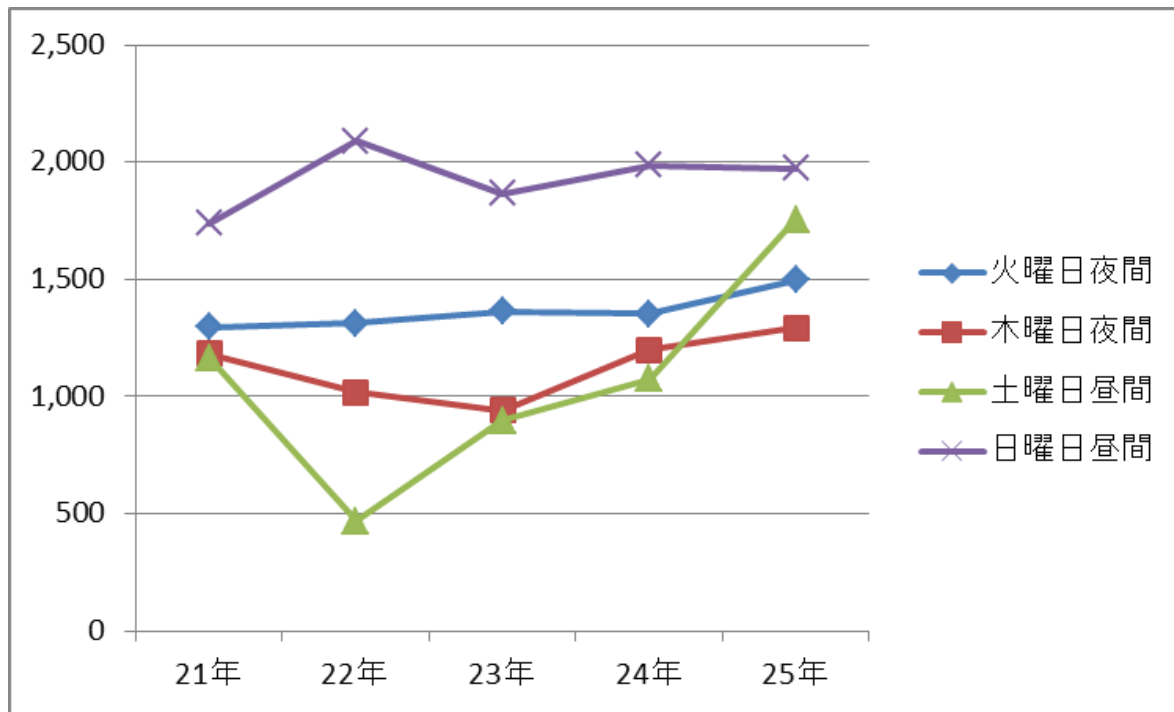
曜日	火曜日	木曜日	土曜日	日曜日
検査種類	通常検査	通常検査	即日検査	即日検査
受付時間	18時～20時	18時～20時	14時から16時	14時から16時
定員	50名	50名	50名	50名
検査項目	HIV/HBV/梅毒	HIV/HBV/梅毒	HIV/HBV	HIV/HBV

※予約不要、無料匿名

※平成23年5月から金曜日を木曜日に変更

※平成25年4月から土曜日を即日検査に変更

「chotCASTなんば」の検査件数



大阪府域の
検査件数の
約40%を
「chotCASTなんば」
で実施

	21年	22年	23年	24年	25年
火曜日	1,295	1,313	1,363	1,352	1,498
木曜日	1,181	1,019	940	1,198	1,294
土曜日	1,164	468	896	1,075	1,755
日曜日	1,740	2,090	1,866	1,986	1,974
計	5,380	4,890	5,065	5,611	6,521
陽性者	31	40	31	30	30

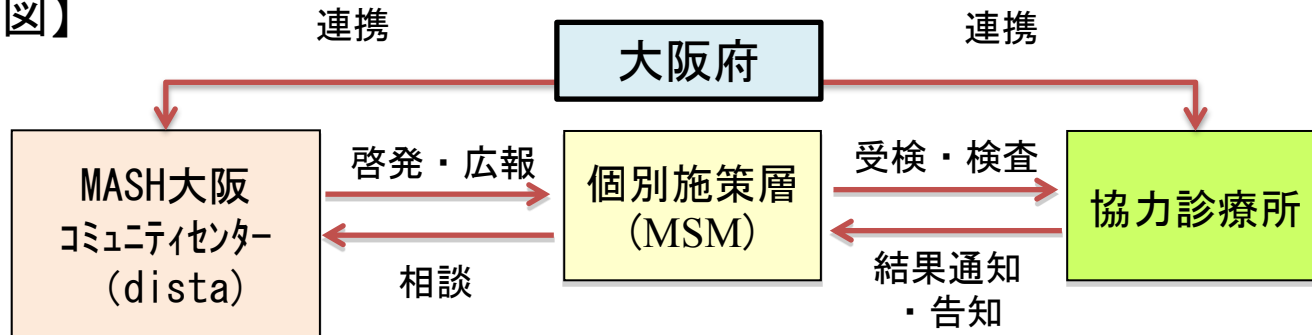
クリニックキャンペーンの概要

【背景】

○平成19年度から平成23年度まで、国研究班（エイズ予防のための戦略研究：研究協力者 府立公衆衛生研究所主任研究員が主担）がCBOと協働し、診療所医師の協力のもとに個別施策層（MSM: Men who have sex with men）に特化したHIV/STI検査プログラムを実施。 受検者:580人 陽性者:32人 陽性率:5.5%

○平成24年度から平成25年度に地域医療再生基金を活用して、府の事業として実施。
平成26年度も実施予定。

【概要図】



【特徴】

- ・有料(1000円)でHIV及び複数の性感染症検査の受検可能
- ・CBOと連携することで、行政では難しい広報や啓発を効果的かつ効率的に実施
- ・一般の受診者と同じ診療時間内で受検可能

クリニックキャンペーンの結果

【府実施キャンペーン結果】

	平成24年度	平成25年度
期間	3ヶ月(6~8月) ×1回	2ヶ月(8・9月)×1回 3ヶ月(12~2月)×1回
診療所数	7ヶ所	8ヶ所
人数	238	221
人数/月	79	111
陽数者数	5	6
陽性率(%)	2.1	2.7
備考		2回目の実績は含まない

【結果内容】

- 陽性率
(平成25年8・9月の2ヶ月)
府保健所の15倍
- 生涯初受検者割合
(受検者アンケート結果より)
毎回20%以上を維持
(生涯初受検者の発掘)

【本検査の必要性】

- 検査の機会を提供することで、MSMの受検者を増やし、HIV感染の早期発見に繋がる。
- 生涯初受検者割合を20%維持しており、これまでHIV検査を受けてこなかった人に初めて検査を受ける機会を提供でき、HIV検査受検経験率を上げることが期待できる。

⇒キャンペーン事業の効果は高いことから、継続して実施したい。

大阪府における啓発

■ 保健所による啓発

- ・保健所ホームページや職員ブログによる啓発
- ・大学等教育機関における啓発
- ・コミュニティFMラジオと協働した啓発 など

■ エイズ予防週間実行委員会

- ・府、保健所設置市の協働による啓発

■ HIV・エイズの正しい知識の普及啓発及びまん延防止対策事業

(国地域医療再生基金を活用(23～25年度))

- ・個別施策層への正しい知識の普及啓発 ※
- ・エイズに対する関心向上啓発キャンペーン

※26年度限り一部の事業について、1年延長

エイズ予防週間実行委員会の概要

- 大阪府、保健所設置市（大阪市、堺市、高槻市、東大阪市、豊中市）の協働でエイズ予防週間実行委員会を組織。
- 世界エイズデー（12月1日）を軸としてエイズ予防週間（11月28日から12月4日まで）を設け、感染の予防と患者・感染者への偏見差別解消を目的に、エイズに関する正しい情報や知識等について集中的な普及啓発活動を実施。

エイズ予防週間実行委員会の事業内容(1)

平成25年度事業内容

■街頭キャンペーンの実施

日時:平成25年11月21日(木)

17時から19時

場 所:南海なんば駅周辺

配布物2,000セット

同日の「RED RIBBON LIVE 2013 IN
OSAKA」の会場で「アイやん」の紹介



エコカイロ



エイズ予防週間実行委員会の事業内容(2)

■臨時夜間HIV即日検査の実施

日時：平成25年11月27日(水)・29日(金)

受付時間18時から19時まで 定員30名

場所：chotCASTなんば

■啓発広告の掲載

内容：京セラドームの野球年間日程表に

エイズ・HIV啓発広告を掲載

イラストに「アイやん」使用

日時：平成26年3月中頃 発行数：5万部

HIV・エイズの正しい知識の普及啓発及びまん延防止対策事業（地域医療再生基金事業）

【経過】

- 府域におけるHIV感染者・エイズ患者報告数は年々増加傾向にあるにもかかわらず、HIV検査件数は低迷
 - HIV・エイズへの予防意識や関心の低下
- 等に対応するため、国の地域医療再生基金を活用した啓発を実施。

【内容】

1 個別施策層への正しい知識の普及啓発

個別施策層（青少年、同性愛者、外国人、性風俗産業の従事者及び利用者）に重点的を置いた啓発を実施

2 エイズに対する関心向上キャンペーン

府域におけるエイズに対する予防意識や関心を高めるため、公共交通機関の吊り広告等を活用した啓発を実施

個別施策層への正しい知識の普及啓発

■NPO法人等から個別施策層への 啓発等を実施

- ・研修会の実施
- ・イベントの実施
- ・パンフレット等の作成・配布
- ・人材の育成及び活用 など

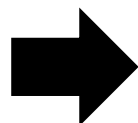
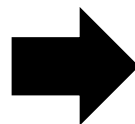
エイズに対する関心向上キャンペーン

■広報媒体を活用して、大阪府域限定で啓発を実施

- WEB広告、スマートフォン広告
- 大型ビジョン広告
- 公共交通機関の車内吊り・駅貼りポスターなど

エイズに対する関心向上キャンペーン

例: WEB広告

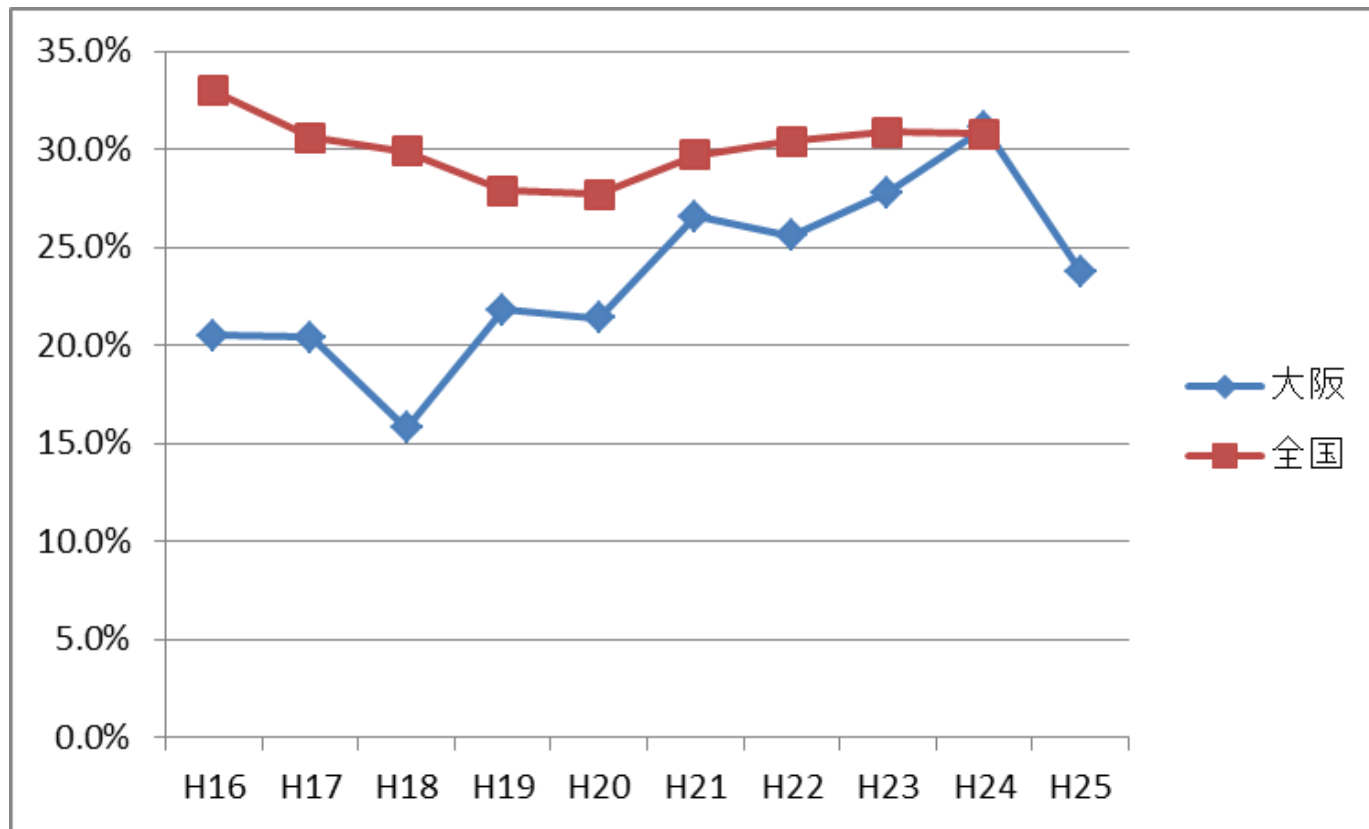


■クリックのリンク先

「おおさかエイズ情報NOW」

<http://www.osaka-aids-now.info/>

大阪府のいきなりエイズ率の推移



	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
大阪	20.5%	20.4%	15.8%	21.8%	21.4%	26.6%	25.6%	27.8%	31.1%	23.8%
全国	33.0%	30.6%	29.9%	27.9%	27.7%	29.7%	30.4%	30.9%	30.8%	

※H25は平成26年1月27日速報値により算出

今後の課題

- 特定感染症検査等事業（HIV）の国庫基準額については、平成25年度から単価算定方式に改定されたことから、事業を安定的に実施することが困難になっている。
- 安定的・効率的に検査を実施するためには、実情に応じた取組を実施することが重要である。
HIV検査の国庫補助対象が無料・匿名に限定されているが、有料も対象とするなど柔軟な対応が必要。
- 地方自治体が効果的なエイズ対策を実施していくためにはNGO等との連携が必要不可欠である。
そのため、NGO等が安定した事業を実施できるよう「同性愛者等のHIVに関する相談・支援事業（コミュニティセンター分）」などの予算をさらに充実することは不可欠である。

ご静聴ありがとうございました

